

令和3年8月5日	
所 属	情報指令課
所属長	大木 康裕
電 話	06-6481-3968

---

## 令和3年上半期火災・救急・救助概要について

---

### 1 趣旨

市内において、火災予防や救急車の適正利用を促すため、令和3年上半期中に発生した火災、救急、救助に関する概要を広く周知します。

### 2 対象期間

令和3年1月1日（金）～令和3年6月30日（水）

### 3 各概要における項目

#### (1) 火災概要

火災の発生状況、出火件数、焼損床面積及び損害額、火災件数の推移、出火原因、住宅火災の出火原因

#### (2) 救急概要

過去10年間の救急出動件数の推移、程度別、年齢区分別、事故種別

#### (3) 救助概要

救助隊配置体制、救助工作車配置体制、出動件数、室内閉じ込め救助件数

### 4 その他

令和3年上半期火災・救急・救助概要の詳細については別添のとおり

以 上

# 令和3年上半期火災概要

## 火災の発生状況

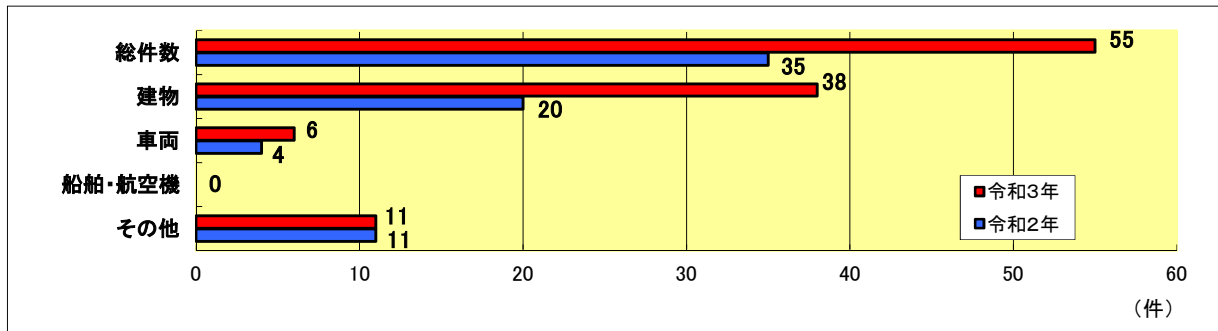
- 令和3年上半期の火災件数は55件で、焼損床面積は1,121㎡、損害額は3,410万6千円、死者3名、負傷者9名となりました。

令和3年	
件数	55件
焼損床面積	1,121㎡
損害額	3,410万6千円
死者	3名
負傷者	9名

令和2年	
件数	35件
焼損床面積	147㎡
損害額	1,139万2千円
死者	0名
負傷者	10名

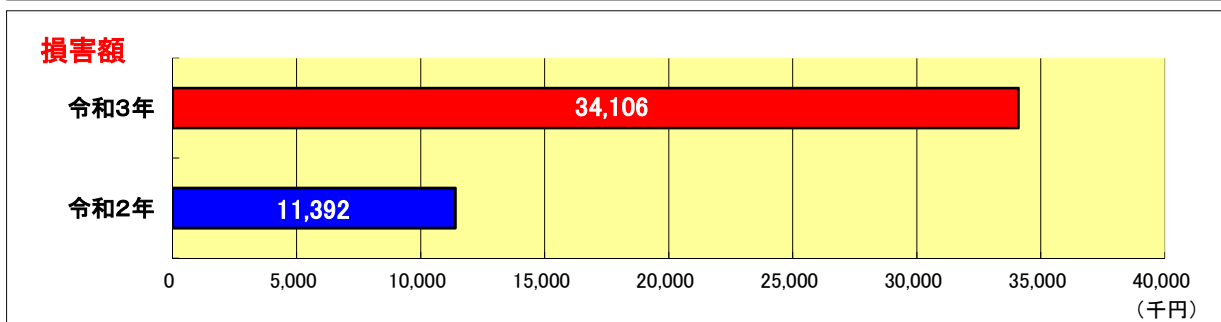
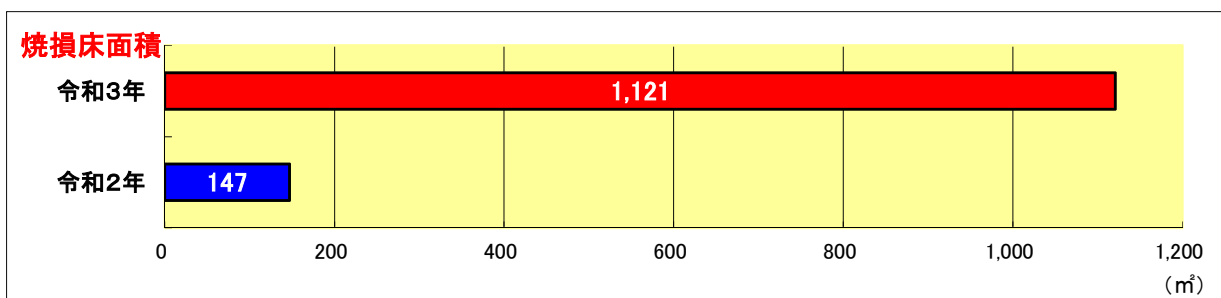
## 出火件数

- 出火件数は、前年の35件から20件増加し、55件となりました。
- 火災種別ごとでは「建物火災」が38件で18件増加、「車両火災」が6件で2件増加、船舶火災、「航空機火災」は共に0件で、「その他火災」が11件で前年と同数でした。



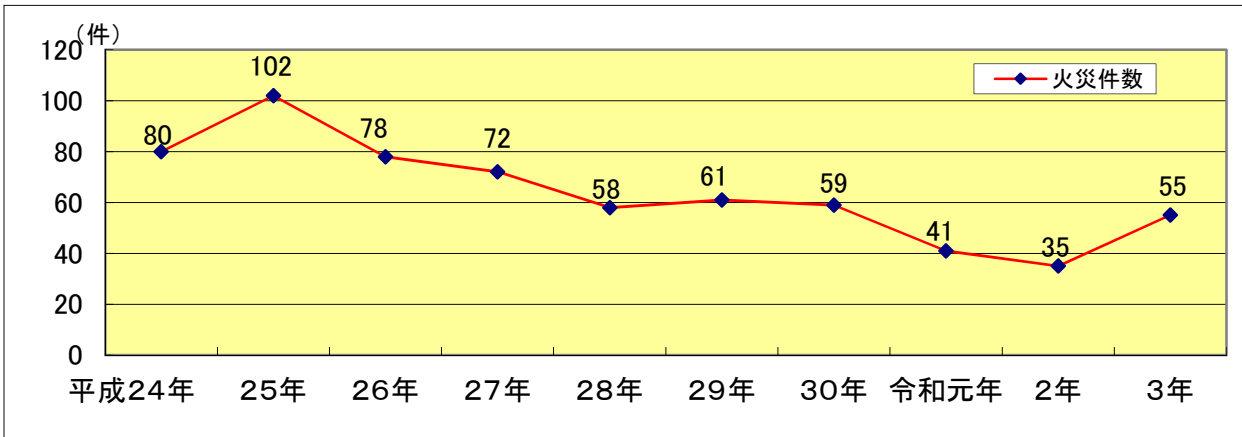
## 焼損床面積及び損害額

- 焼損床面積は、前年の147㎡から974㎡増加の1,121㎡、損害額は前年の1,139万2千円から2,271万4千円増加の3,410万6千円となりました。



## 火災件数の推移

- 令和3年は55件で、前年より20件の増加となりました。
- 過去10年間の平均は64.1件です。

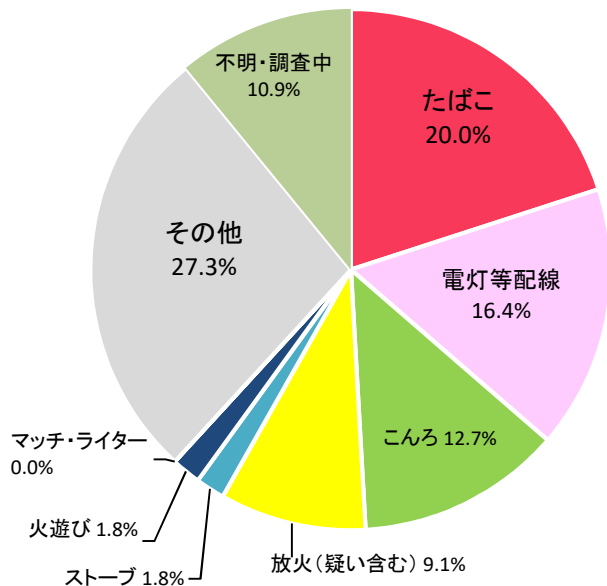


## 出火原因

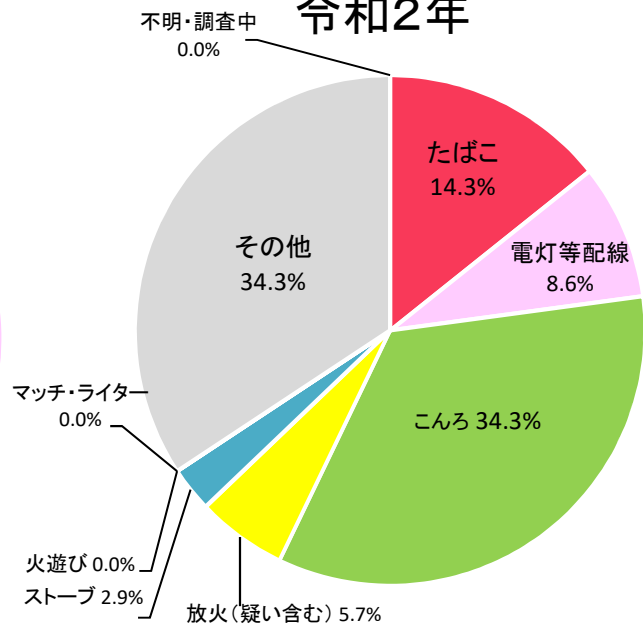
- 主な出火原因をみると、1位は「たばこ」で11件となり6件の増加となっています。2位は「電灯等配線」で9件となり6件の増加となっています。3位は「こんろ」で7件となり5件の減少となりました。
- 各出火原因の全体に占める割合は、上位から「たばこ」、「電灯等配線」、「こんろ」となり、件数は27件で割合は、49.1%となりました。

区分	令和3年	令和2年
たばこ	11件	5件
電灯等配線	9件	3件
こんろ	7件	12件
放火(疑い含む)	5件	2件
ストーブ	1件	1件
火遊び	1件	0件
マッチ・ライター	0件	0件
その他	15件	12件
不明・調査中	6件	0件
合計	55件	35件

### 令和3年



### 令和2年



※四捨五入しており、100%にならない場合があります。

## 住宅火災の出火原因

- 住宅やアパート・マンションなど住宅火災全体の件数は14件で、前年の14件と同数となりました。
- 令和3年の出火件数55件に占める住宅火災の割合は、25.5%となりました。
- 住宅火災における出火原因の主なものとして、「たばこ」、「こんろ」、「電灯等配線」となり、その原因が住宅火災全体を占める割合は71.4%となりました。

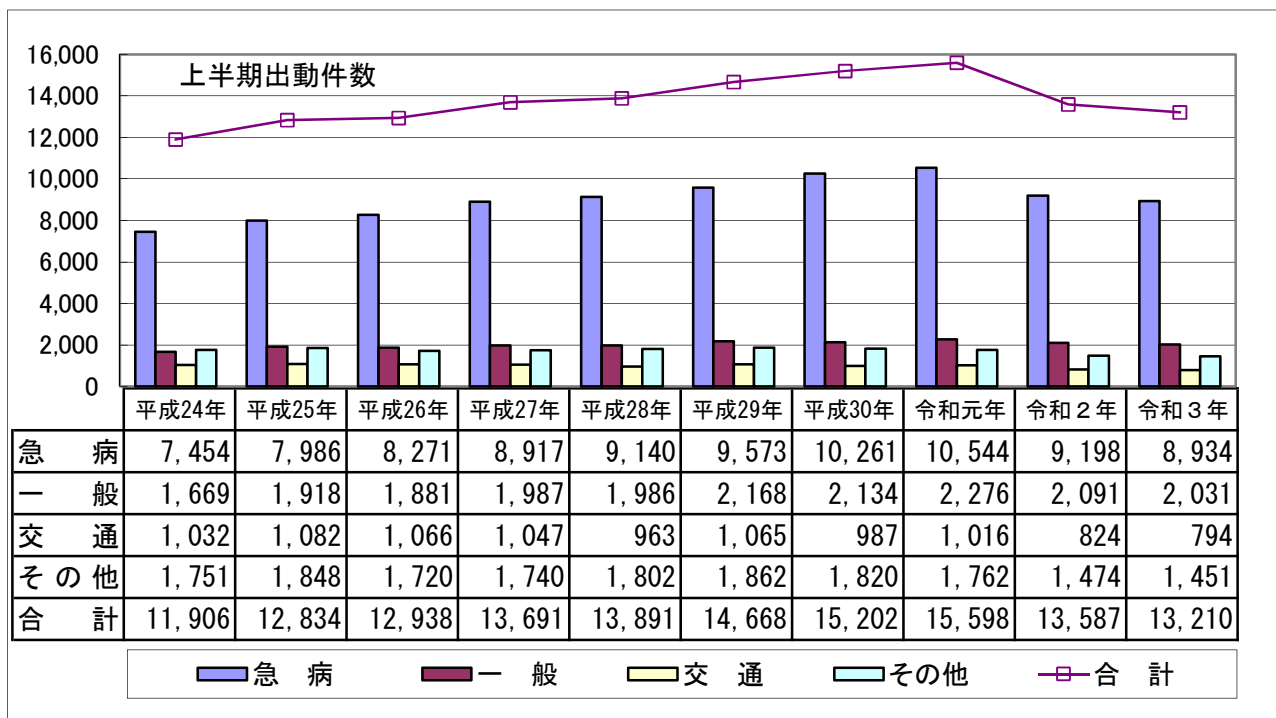
建物別	年別	計	放火（疑い含む）	たばこ	こんろ	火遊び	マッチ・ライター	ストーブ	電灯等配線	その他	不明・調査中
一般住宅	令和3年	5	1	1					2		1
	令和2年	3						1		2	
併用住宅	令和3年										
	令和2年										
共同住宅	令和3年	9		3	4					1	1
	令和2年	11		1	8				1	1	
合計	令和3年	14	1	4	4				2	1	2
	令和2年	14		1	8			1	1	3	

# 令和3年上半期救急概要

- 令和3年上半期（1月～6月）における救急出動件数は、13,210件（前年13,587件）で377件（2.8%）の減少となり、搬送人員は、10,903人（前年11,657人）で754人（6.5%）の減少となっています。1日平均は73.0件（前年74.7件）であり、約20分に1件の割合で救急隊が出動したことになります。

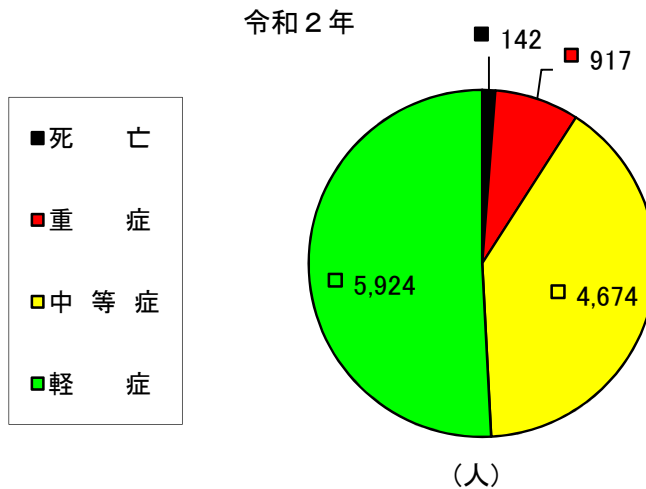
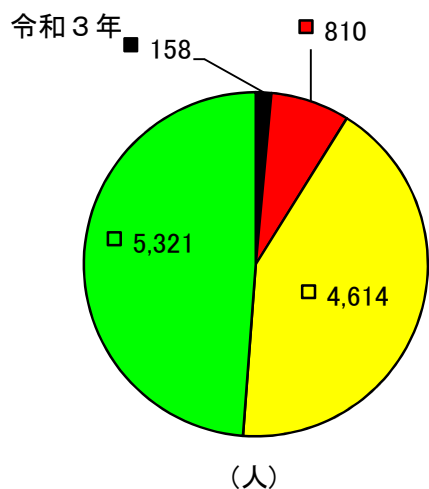
## 過去10年間の上半期救急出動件数の推移

- 過去10年間の上半期救急出動件数をみると、令和元年まで8年連続で増加していたが、令和2年は減少に転じ、令和3年は377件の減少となります。



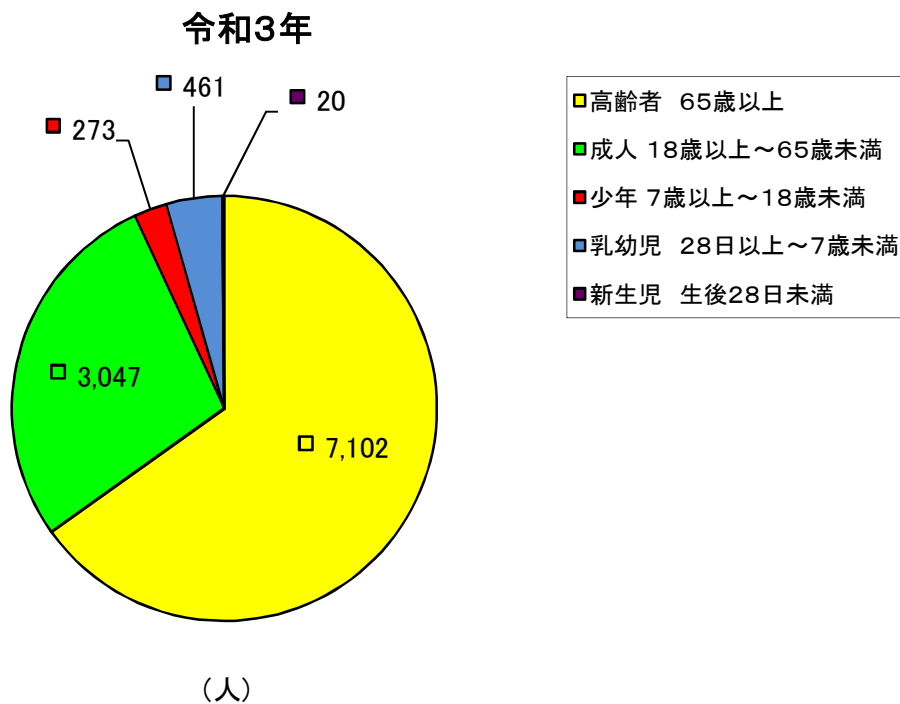
## 程度別

- 程度別をみると、軽症5,321人（前年5,924人）で603人（10.2%）の減少、中等症4,614人（前年4,674人）で60人（1.3%）の減少、重症810人（前年917人）で107人（11.7%）の減少、死亡158人（前年142人）で16人（11.3%）増加となっています。



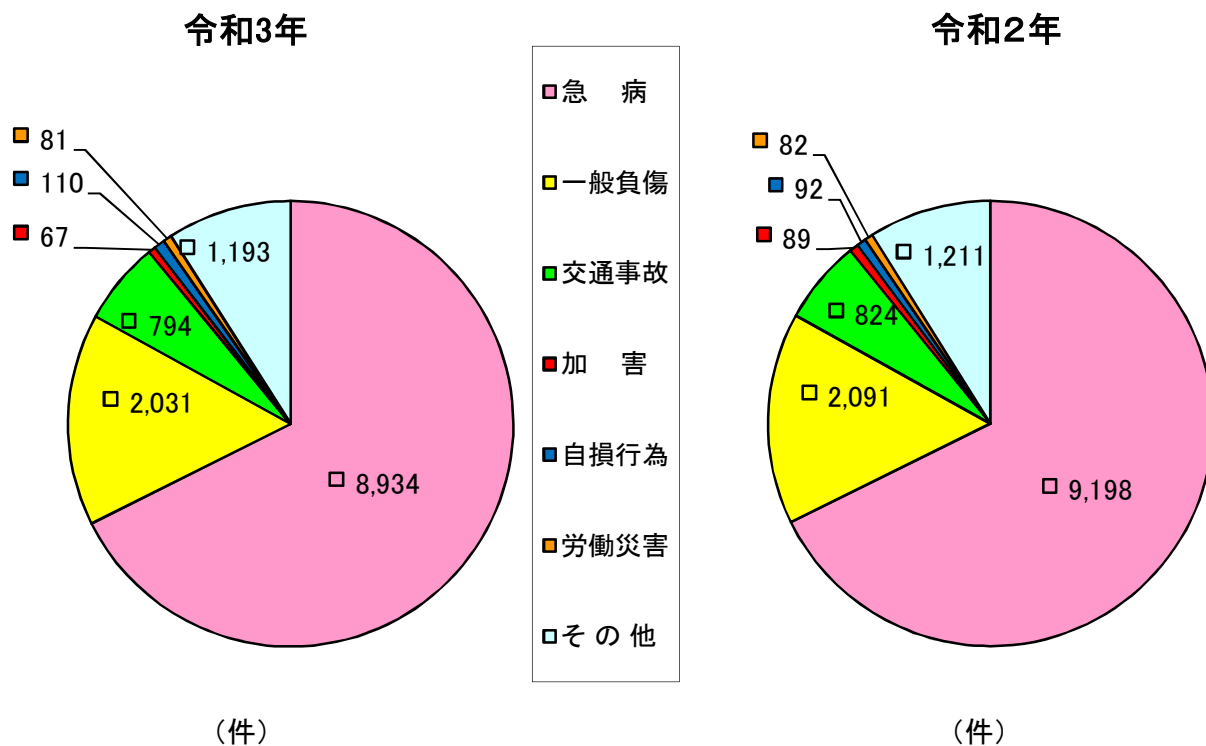
## 年齢区分別

- 年齢区分別をみると、高齢者が7,102人で最も多く、全体の65.1%を占め、以下、成人、乳幼児、少年、新生児の順となっています。



## 事故種別

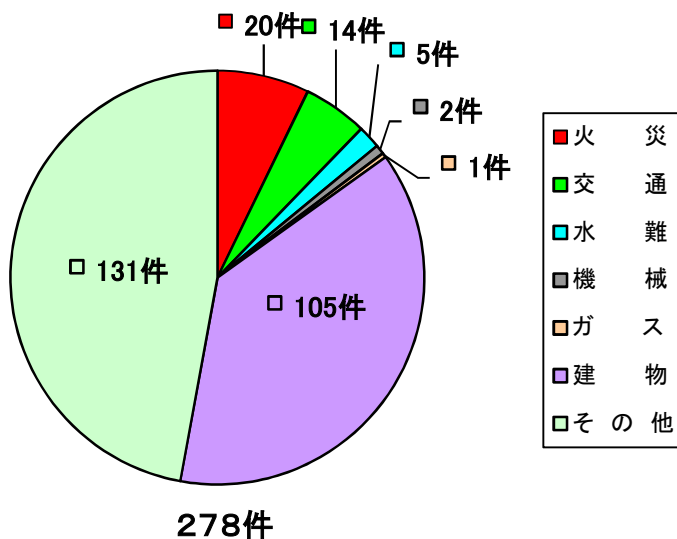
- 事故種別をみると、急病が最も多く全体の67.6%を占め、以下、一般負傷、交通事故の順となっています。



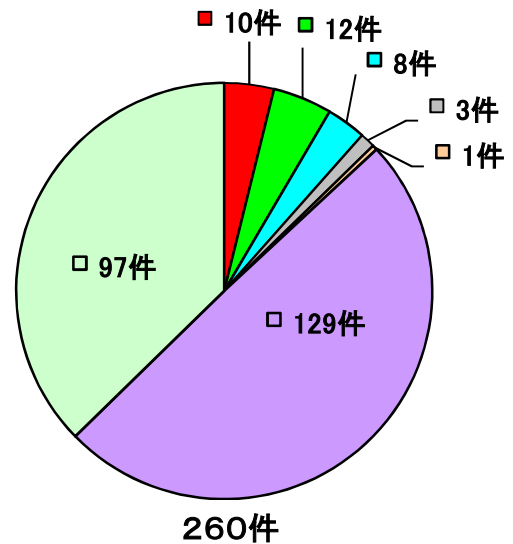
# 令和3年上半期救助概要

- 本市の救助体制は、高度救助隊1隊、特別救助隊1隊、署救助隊2隊、水難救助隊1隊で計5隊の救助隊を配置しています。
- 救助工作車は2台を有し、市域の南部に1台、北部に1台を配置し、あらゆる災害における救助体制の拡充、強化を図っています。
- 令和3年上半期の救助件数は278件（前年260件）で18件（6.9%）増加し、出動隊数は491隊（前年415隊）で76件（18.3%）の増加となっており、事故種別ごとにみると、建物等による事故が最も多くなっています。
- 近年では、室内閉じ込め救助が増加しています。この室内閉じ込め救助とは、何らかの理由により、自力でドアを開けて外に出られなくなった又は室内に人がいると思われるが、安否の確認が出来ない状態のことであり、救助件数278件のうち159件（57.2%）がこの室内閉じ込め救助となっています。

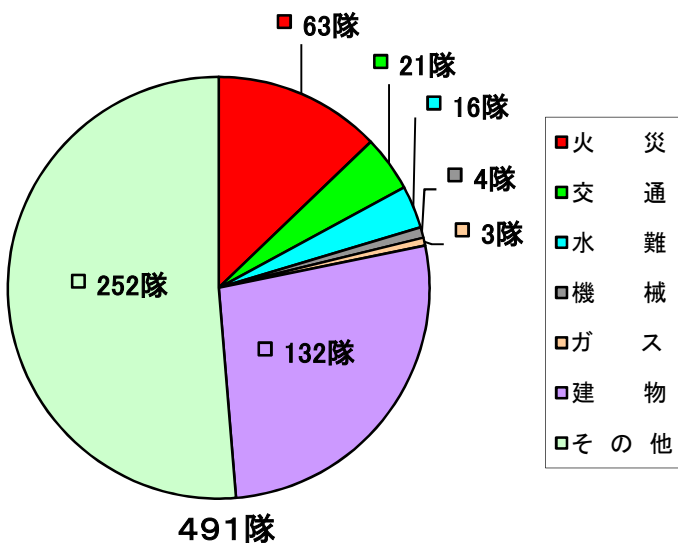
令和3年救助件数



令和2年救助件数



令和3年救助出動隊数



令和2年救助出動隊数

